

## News Release

2016年9月1日  
 一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)

### 電機・電子業界の生物多様性保全活動事例データベース 公開について

電機・電子4団体\*1 生物多様性WGでは、電機・電子業界における生物多様性保全活動を促進するために、会員企業における生物保全活動について情報を収集し、事例データベースとしてJEMAウェブサイトにおいて公開を開始しました。

- \*1 電機・電子4団体：  
 一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)  
 一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)  
 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)  
 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)

#### 1. データベースの概要

会員企業同意のもと、環境報告書やホームページでの公開情報から生物多様性保全に資する活動のデータを収集・登録しました。活動地域(都道府県別、国内/海外)、貢献している愛知目標、フリーテキストなどで検索することができます。検索結果一覧で活動概要が把握でき、詳細情報へのリンクも設定しています。また該当するライフサイクルステージもお示ししています。(公開時登録件数:約 50社 170件)

#### 2. データベースの画面イメージ

[トップ画面]



## 愛知目標別検索

愛知目標の個別目標	
01.貧乏撲滅	人々が生物多様性の恩恵と行動を認識する
02.食糧計画への転換	生物多様性の恩恵を食と地方の発展に統合し、適切な場合には国家計画や糧食戦略に組み込む
03.漁業・養殖業	生物多様性に有害な補助金などの経済的誘因を廃止・改善する
04.持続可能な生産と消費	すべての製品が持続可能な生産・消費のための計画を実施する
05.生態系破壊の防止	森林を含む自然生態系の損失が少なくとも半減、退化・分断が顕著に減少する
06.過剰漁獲の防止	小魚資源を特長的に保護する
07.農業・牧畜業・林業の持続的発展	農業・牧畜業・林業が行われる地域を特的に保護する
08.化学物質などによる汚染の抑制	化学物質・肥料・農薬の汚染を有害でない程度まで削減する
09.外来種	侵略的な外来種を制御し、または、根絶する
10.自然生態系の保護	脆弱な生態系への悪影響を最小化する
11.保護地域の保全	少なくとも陸地の17%、海陸の10%を保護地域などにより保全する
12.種の保全	絶滅の危険が増減・減少を防止する
13.遺伝的多様性の保護	作物・家畜の遺伝子の多様性の損失を最小化する
14.生態系サービス	自然の恵みをもたらす生態系が回復・保全される
15.生態系の復元と自然災害の軽減	劣化した生態系の15%以上の回復を通じ気候変動と自然の資源に貢献する
16.ABS・名古屋議定書	ABSに関する名古屋議定書を履行する
17.漁業の持続的発展	効果的で参加型の資源管理を推進する
18.伝統的知識の尊重	伝統的知識を尊重する
19.知識・技術の向上と普及	関連する知識・科学技術を普及する
20.人材開発の拡大	すべてのコースからの資金が顕著に増加する

[検索結果出力画面]

## 検索結果

検索方法 愛知目標別検索

検索条件 愛知目標01

検索条件の変更 

70 件の活動が検索されました。

※LCS＝ライフサイクルステージ：A：土壌利用B：研究開発C：採掘D：製造E：流通F：販売G：使用H：リサイクル・廃棄I：社会貢献J：教育

NO	画像	会社名 活動/プロジェクト名/ 詳細URL	概要	活動範囲	愛知 目標	LCS (注)
1		富士電機株式会社 登山生活活動 <a href="#">+ URL</a>	整備が済まずに放置された雑木林や雑草地を、動植物と人間が共存できる豊地登山として再生させるための活動です。活動単位として認知症でおこなわれている「登山学校」があります。	愛知県	01,05,07,10,18	I,J
2		株式会社リコー エコ活動 <a href="#">+ URL</a>	リコーUKプロダクツ (RPL) では、2009年度から「Eco-Ninja」と銘打ち、事業所敷地内、およびRPL近くのリーキンの森等の生物多様性保護活動を始めました。本活動では、事業所敷地、および周辺の生態系の調査のために、鳥類や小虫哺乳類のための巣箱の設置を行っています。 RPLでは、Shropshire Wildlife Trust、Shropshire Mammal Societyにご協力いただき、社員がボランティアで訓練を受け、許可を得て活動しています。	海外	01,05,12,14,19	A,J

### 3. 事例データベースの URL

(JEMA ウェブサイト内)

[http://bio.jema-net.or.jp/Japanese/env/biodiversity\\_db/](http://bio.jema-net.or.jp/Japanese/env/biodiversity_db/)

### 4. 今後について

生物多様性 WG は 2011 年 5 月に発足して以来、教育啓発ツール「Let's Study Biodiversity(LSB:2014 年 4 月発行、2016 年 3 月追補版発行)」や「電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針(2015 年 3 月発行、2016 年 3 月英語版発行)等の制作やセミナー・イベントを通じ、電機・電子業界の生物多様性保全推進を支援してまいりました。

今般公開した事例データベースについては、今後も会員企業からの積極的な情報提供をお願いし充実を図るとともに、引き続き様々な取組みにより会員支援と業界への貢献に努めてまいります。

<ご参考>電機・電子 4 団体 生物多様性保全ウェブサイト(JEMA ウェブサイト内)

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/env/biodiversity.html>

以 上

本資料に関する弊社お問い合わせ先

TEL:03-3556-5883 FAX:03-3556-5892

幹事事務局: 一般社団法人 日本電機工業会 環境部(担当:安藤)